

自立活動学習指導案

1 単元名 目指せ 聞き方名人（話の聞き方）SST

2 単元の目標

- ・ 聞き手の姿勢や態度が大切であることに気付き、上手な聞き方のスキルを身に付けることができる
- ・ 全体で振り返りをする中で、自分の聞き方の特徴に気付くと共に、学んだことの気付きやスキルを、これからの生活に生かすことができる

3 関連する自立活動の内容項目

- | | |
|-------------|----------------------------|
| 1 健康の保持 | (4) 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること |
| 3 人間関係の形成 | (1) 他者とのかかわりの基礎に関すること |
| | (3) 自己の理解と行動の調整に関すること |
| 6 コミュニケーション | (2) 言語の受容と表出に関すること |

4 各児童の目標（例）

・教師の指示や友達の発言を途中で遮らずに、最後まで聞くことができる ・指示を聞いても分からなかったことや、聞き逃してしまったことを質問して解決することができる	・教師や友達が話し始めたら、注意を向けて、最後まで話を聞くことができる ・活動中分からないことがあったときに、質問をするなどして活動についていこうとすることができる	・教師の指示や友達の発言の途中で、動き始めずに、最後まで聞いて行動することができる ・指示を聞いても分からなかったことや、聞き逃してしまったことを質問して解決することができる	・教師の指示や友達の発言を最後まで聞いて、内容を理解することができる ・分からないことがあったときに、隠したり固まったりせずに質問して解決することができる
--	---	--	--

5 指導計画（全3時間）

時	段階	活動名	ねらい
1	よい聞き方を知る	SST キャッチボール トーキング	会話をボールに見立てて、キャッチボールをしながら話をするにより、よい聞き方のルールについて実感を伴って理解することができる
2	相手の言葉を正確に聞く	SST よく聞くかるた	「よく聞くかるた」に取り組むことにより、話を聞く意識を高め、相手の話を最後まで聞いて行動することのよさを理解することができる
3	よい聞き方ができる	SST よく聞いて答えよう	これまで学習してきたよい聞き方を、教師の出題する問題に対して答える活動の中で、生かすことができる

6 身に付けさせたいスキル ・相手を見る ・相づちをうつ ・最後まで聞く ・質問する

7 展開

(1) 第1時 SST：キャッチボールトークキング

ねらい 会話をボールに見立てて、キャッチボールをしながら話をするにより、よい聞き方のルールについて実感を伴って理解することができる

過程	学習活動	留意点・備考
教示	<p>1. 本時のめあてを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 自分が話しているときに相手（友達や先生）が話を聞いてくれなかったときの気持ちを振り返らせる。 ○ 自分が相手（友達や先生）の話を聞いていないと、どんな困ったことが起こるかを想像させる。 ○ 聞き方が上手になると、大事なことを聞き落として困ることが減ったり、相手と仲よくなれたりすることを確認し、本時のめあてを提示する。 <p>⑥ 上手な話の聞き方の練習をしよう</p>	
モデリング	<p>2. モデリングを見て、話の聞き方のポイントを知る。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修生が「聞き役」、特別支援学級担任が「話し役」になり、2つの聞き方のモデルを示す。 <p>【モデリング】</p> <p>モデルⅠ 相手の方を見ずに、相づちをうたない 相手が話している途中で話をさえぎる</p> <p>モデルⅡ ポイントを使って話を聞く</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのモデルを比べさせながら、話の聞き方のポイントを考えさせる。 <p>【聞き方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の方（顔）を見て聞く ・反応しながら聞く（うなづく、相づちを打つ） ・話を最後まできく（話をさえぎらない） 	<p>ポイントが分かりやすいように、大きさに演じる。</p> <p>実際にモデリングの「話し役」に気持ちの違いを尋ねて確かめる。</p>
リハーサル フィードバック	<p>3. キャッチボールトークキングをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聞き方のポイントに気を付けさせながら、キャッチボールトークキングをさせる。（聞く練習） <p>① 教師と2人で ② 友達と2人組で ③ 教師を交えて2人以上で</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 友達同士でよかったところを教え合わせる。 	<p>ボールを強く投げないように気を付ける。</p> <p>児童のよい聞き方に対して肯定的な声掛けをする。</p>
フィードバック 一般化	<p>4. 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 話の聞き方のポイントを使うと相手に話を聞いていることが伝わり、相手が嬉しくなることを確認する。 ○ 話の聞き方のポイントは、普段どのような場面で使えるか考えさせる。 	<p>友達の発表を聞くときや、教師の話の聞いているときに活かしているか確認する。</p>

(2) 第2時 SST：よく聞くかるた

ねらい 「よく聞くかるた」に取り組むことにより、話を聞く意識を高め、相手の話を最後まで聞いて行動することのよさを理解することができる

過程	学習活動	留意点・備考
教示	<p>1. 「話の聞き方のポイント」を振り返り、めあてを確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 前時に学習した「キャッチボールトーク」を短時間で行い、「聞き方のポイント」を振り返らせる。 <p>【聞き方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の方（顔）を見て聞く ・反応しながら聞く（うなづく、相づちを打つ） ・話を最後まで聞く（話をさえぎらない） <ul style="list-style-type: none"> ○ 「聞き方のポイント」を意識しながら過ごしているか振り返らせる。 ○ 「話を最後まで聞く」が難しいということを確認し、本時のめあてを提示する。 <p>④ 「話を最後まで聞く」に気をつけて「よく聞くかるた」をしよう</p>	
モデリング	<p>2. モデリングを見て、「よく聞くかるた」のやり方を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 研修生が「読み手」、特別支援学級担任が「取り手」になり、2つの聞き方のモデルを示す。 <p>【モデリング】</p> <p>モデルⅠ 最後まで読み札の内容を聞かずに動く。</p> <p>モデルⅡ 最後まで読み札の内容を聞いて「はい」の合図で取りに行く。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 2つのモデルを比べさせながら、「よく聞くかるた」のやり方や気を付けることを考えさせる。 	ポイントが分かりやすいように、大きさに演じる。
リハーサル フィードバック	<p>3. よく聞くかるたをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 聞き方のポイントに気を付けさせながら「よく聞くかるた」に取り組ませる。 <ul style="list-style-type: none"> ① お題の形に当てはまる札を選ぶかるた ② お題の絵に当てはまる札を選ぶかるた ○ 友達同士でよかったところを教え合わせる。 	児童のよい聞き方に対して肯定的な声掛けをする。
フィードバック 一般化	<p>4. 学習の振り返りをする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「話を最後まで聞く」ことのよさについて話し合う。 ○ 話の聞き方のポイントは、普段どのような場面で使えるか考えさせる。 ○ 話を聞き逃したときや聞いても分からないときの対応（質問の仕方）を練習させる。 	友達の発表を聞くときや、教師の話の聞いているときに活かしているか確認する。

(3) 第3時 SST：よく聞いて答えよう

ねらい これまで学習してきたよい聞き方を、教師の出題する問題に対して答える活動の中で、生かすことができる

過程	学習活動	留意点・備考
教示	<p>1. 「話の聞き方のポイント」を振り返り、めあてを確認する。</p> <p>○ 「聞き方のポイント」を確認し、「聞き方のポイント」を意識しながら過ごしているか振り返らせる。</p> <p>【聞き方のポイント】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手の方（顔）を見て聞く ・反応しながら聞く（うなづく、相づちを打つ） ・話を最後まできく（話をさえぎらない） <p>○ 本時のめあてを提示する。</p> <p>⑥ 「聞き方のポイント」に気をつけて「よく聞くクイズ」をしよう</p>	<p>友達の発表を聞く際も「聞き方のポイント」を意識させる。</p>
モデリング	<p>2. モデリングを見て、「よく聞くクイズ」のやり方を確認する。</p> <p>○ 研修生が「出題者」、特別支援学級担任が「解答者」になり、2つの聞き方のモデルを示す。</p> <p>【モデリング】</p> <p>モデルⅠ 「聞き方のポイント」に気を付けずに解答する。</p> <p>モデルⅡ 「聞き方のポイント」に気を付けて解答する。</p> <p>○ 2つのモデルを比べさせながら、「よく聞くクイズ」のやり方や気を付けることを考えさせる。</p>	<p>ポイントが分かりやすいように、大きさに演じる。</p>
リハーサル フィードバック	<p>3. よく聞くクイズをする。</p> <p>○ 聞き方のポイントに気を付けさせながら「よく聞くクイズ」に取り組ませる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3つの言葉から、お題に当てはまるものを答えるクイズ ・難易度を簡単なものから難しいものに変えていく <p>⇒ 解答者ではないときも、友達の発表に対して「同じです」「他にあります」などのように反応をするように声掛けする。</p> <p>○ 友達同士でよかったところを教え合わせる。</p>	<p>児童のよい聞き方に対して肯定的な声掛けをする。</p>
フィードバック 般化	<p>4. 学習の振り返りをする。</p> <p>○ 「聞き方のポイント」を意識しながら過ごすことのよさについて話し合う。</p> <p>○ 話を聞き逃したときや聞いても分からないときの対応（質問の仕方）を練習させる。</p> <p>○ 今後も「聞き方のポイント」に気を付けながら、よい聞き方を続けていくことを確認する。</p>	<p>友達の発表を聞くときや、教師の話の話を聞いているときに活かしているか確認する。</p>

8 フィードバックについて

《第1時後の継続的なフィードバック》

フィードアップ	・「聞き方のポイント」を確認する声掛けをする
フィードバック	・よい聞き方ができていたら褒める ・話し手や周りの人の気持ちを伝える
フィードフォワード	・今後意識してほしい「聞き方のポイント」の目標を示す

《第2時後のフィードバック》

フィードアップ	・「聞き方のポイント」を確認する声掛けをする
フィードバック	・最後まで話を聞いて行動できたことを中心に褒める ・話し手や周りの人の気持ちを伝える ・本人の姿から、上手に使えた「聞き方のポイント」を伝える
フィードフォワード	・今後意識してほしい「聞き方のポイント」の目標を示す

《第3時後のフィードバック》

フィードアップ	・「聞き方のポイント」を確認する声掛けをする
フィードバック	・よい聞き方を続けることで成長した部分を褒める ・話し手や周りの人の気持ちを伝える ・本人の姿から、上手に使えている「聞き方のポイント」を伝える ・本人の気持ちを聞きながら適宜振り返る声掛けをする
フィードフォワード	・今後意識してほしい「聞き方のポイント」の目標を示す